

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立男女共同参画センター東部館
施設所管課・担当	市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課（電話：06-6208-9156）
条例上の設置目的	男女共同参画社会の実現をめざす活動の拠点として、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野における活動に参画し、個人として能力が発揮できるよう多面的な支援を行うことにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。
業務の概要	センター施設の管理・運営、男女共同参画社会の形成に関する情報の収集及び提供、男女共同参画社会の形成に関する講演会・講習会・研修会等の開催、男女共同参画に係る問題に関する相談、男女共同参画社会の形成に関する啓発、その他市長が必要と認める事業
成果指標	貸室等利用率／貸室等利用者満足度／情報・図書コーナー利用者数／講座受講者数／講座受講者満足度
数値目標	63.0%以上／80%以上／3,700人以上／1,000人以上／80%以上
56.25	大阪市男女共同参画推進事業体（東） （代表者）一般財団法人 大阪男女いきいき財団 （構成員）グローブシップ株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸室等利用率	貸室等利用者満足度	情報・図書コーナー利用者数	講座受講者数
数値目標	63.0%以上	80.0%以上	3,700人以上	1,000人以上
年度実績	57.9%	99.0%	3,742人	1,438人
達成率	91.9%	123.8%	101.1%	143.8%

成果指標	講座受講者満足度
数値目標	80.0%以上
年度実績	97.3%
達成率	121.6%

## 利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	118,667人	132,225人	△13,558人
稼働率	57.9%	58.1%	△0.2%

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績-計画）	主な要因
業務代行料	実績	46,518,037	45,627,000	890,037	改修工事に伴う利用料金の補填等のため
	計画	45,628,000	45,713,000		
利用料金収入	実績	21,295,250	23,170,820	△925,750	改修工事に伴う貸室等の供用停止による利用率の減等のため
	計画	22,221,000	22,116,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	4,697,121	4,262,907	895,121	
	計画	3,802,000	3,772,000		
合計	実績	72,510,408	73,060,727	859,408	
	計画	71,651,000	71,601,000		

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	43,879,583	42,063,731	8,209,583	一部の項目において人員増のため
	計画	35,670,000	35,670,000		
物件費	実績	30,678,821	32,012,076	△ 1,846,179	光熱水費の減等のため
	計画	32,525,000	32,502,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	2,929,952	2,949,604	△ 526,048	
	計画	3,456,000	3,429,000		
合計	実績	77,488,356	77,025,411	5,837,356	
	計画	71,651,000	71,601,000		

## 4 管理運営状況の評価(1次評価)

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室等利用率	91.9%	B	
貸室等利用者満足度	123.8%	S	
情報・図書コーナー利用者数	101.1%	B	
講座受講者数	143.8%	S	
講座受講者満足度	121.6%	S	

## (2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>電力需給契約に付加した省エネ実践サービスを付加することで、継続した省エネの取組を実施し、料金単価上昇時のリスク軽減とエネルギーコストの削減を図った。</li> <li>共用部および諸室の照明設備をLEDに更新した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設運営と保守業務の専門性をもつ事業体構成者の強みを活かして、効果的・効率的な維持管理を行った。</li> </ul>

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設・備品等の維持管理に関し、損傷等に係る本市への報告にあたっては、その具体的な内容の明示とともに改善提案がなされている。</li> <li>親子、障がいのある方及び高齢の方並びに外国人の利用者への配慮・対応がなされている。</li> </ul>
事業計画の実施状況	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度から継続しているSNSでの「貸室の空き状況」や「貸室の利用案内」の掲載などに加えて、「新しい東部館用「平日限定ホール時間貸出・インターネット接続サービス」紹介チラシの作成・配架」、諸室でのホール舞台モニター利用可の再周知」など、積極的に利用促進を行った。</li> <li>5月から毎月、スタッフがおすすめる本をコメント付きで紹介するコーナーを設置し、利用促進を図り、紹介した本の多くは貸し出され、利用者数の増加につながった。</li> <li>楽しみながら算数を学べる競技型ゲームや知育ゲーム等で子育て中の親子の交流の場をめざして定期的に開設しており、ボランティアの特技を生かした新しいテーマによるイベントを開催し、新たな参加者の拡大につながった。</li> </ul>

### 令和6年度 指定管理者年度評価シート

	施設の有効利用	B	<ul style="list-style-type: none"><li>・展示ギャラリーに常設でフードドライブ活動の展示と回収会場を設置し年間107.71キロの食品の提供を受けた。おおさかパルコープ（大阪市とフードドライブ連携協定締結）を通して、こども食堂等に提供した。</li><li>・女性の就業・起業等を支援するためチャレンジスタジオを運営し、集中的な学習や情報交換の場を提供するとともに、利用者に有益な情報提供を行うほか、本を読む日とも連携して実施した。</li></ul>
	社会的責任・市の施策との整合性	S	<ul style="list-style-type: none"><li>・「廃棄物の減量推進及び適正処理に関する計画」を作成届出し、館内ごみ箱の撤去、リサイクル資源の回収ボックスの設置、クリーンデイの実施、「大阪マラソン”クリーンUP”作戦」への参加などの継続的な取組みを実施した。</li><li>・様々な年代を対象に、インターンシップ（職場実習）を受入れ、仕事体験を通して自分自身と向き合い、男女共同参画への理解を深め、働くことについて考えるプログラムを実施した。</li></ul>

#### 5 利用者ニーズ・満足度等

<b>【令和6年度実績】</b>
スタッフ対応満足度：99.5%      受講者満足度：97.3%
<b>【参考：令和5年度実績】</b>
スタッフ対応満足度：99.6%      受講者満足度：98.2%

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 6 外部専門家意見

・新型コロナウイルス感染症の流行以降、会議等のオンライン化が急速に進み、貸室等のニーズに変化が生じていることから、利用施設のあり方等について今後新たな検証が必要ではないか。

・男性の施設利用者を拡大させるため、父と子で参加しやすい「算数&知育ゲームで遊ぼう」を実施し、さらに絵本の読み聞かせや折り紙の体験教室等の参加へ拡大させている点が評価できる。

・クレオ大阪の事業やサービスをアピールし、別の目的で来館された方のさらなる利用や男女共同参画の理解促進に繋げてもらうことが重要。

・出前セミナーについて、ニーズに合わせたパッケージを作成して学校で活用してもらような仕組みを作ってはどうか。

・フェスタや夏祭り等で施設利用が増えることはよいが、男女共同参画の意識づけに繋げるために短編の啓発動画を流したり、チラシ等の配布をしてはどうか。

・男女共同参画センターが実施するイベントは、クレオの認知度を上げるためのものと男女共同参画の理解を深めていただくものを切り分けて、それぞれ意識して実施されるべき。

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	・貸室利用率が数値目標を下回ったものの、残りのすべての項目が数値目標を上回った。
市費の縮減	B	・利用者サービスの向上に努めつつ、限られた予算の範囲内で多様な事業が実施できるよう経費を抑えながら効用を最大化する施設・事業運営が行われた。 ・物価高騰が続いているものの、今後も経費削減に努めるとともに、利用料金を中心とした収入の確保に努めたい。
管理運営の履行状況	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者や受講者の要望を把握し、数値目標の達成に向けて課題を分析し、引き続き利用促進に努められたい。</li> <li>・地域の特性や特色等を把握し、ニーズに合わせた事業を実施されたい。</li> <li>・男女共同参画センター各館と連携し、各館で事業のすみ分けを行うなど、幅広い分野をカバーして男女共同参画施策を展開されたい。</li> <li>・イベント等の開催にあたっては、参加者数や施設認知度の向上の観点と、男女共同参画の理解促進の観点を切り分けて、それぞれ意識的に企画・実施されたい。</li> </ul>
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・令和3年3月に策定した「大阪市男女きらめき計画」の趣旨・目的を踏まえた適切な管理運営が行われていると評価できる。